

2018年7月17日 省エネ・節電について

※一言要約： **我慢するのではなく、最新の技術・製品を導入しよう。**

技術はどんどん進歩してきています。

昔は、省エネ・節電は、照明を少し暗くして、冷房の設定温度を少し上げてなど、「我慢」することが一般的でした。

今は、照明ではLED照明であったり、冷房では水の噴霧や扇風機との併用など、快適性を損なわず、代替技術によって、省エネ・節電を行うことができるようになってきています。

省エネ・節電の代替技術や機器の例

- ・照明：高効率ランプ(LED)を導入。
- ・冷暖房機：高効率空調機(エネルギー効率の高いもの、暖房はヒートポンプを導入。  
(10年以上前のものに比べ、約1/2の電気消費量になるものが多い)  
室外機：直射日光を遮る、風の流れを阻害しないように近くにモノを置かない  
室内機：吸込みフィルターの掃除、扇風機の併用
- ・発電機器：太陽光発電パネル、燃料電池システムを導入
- ・生産設備：高効率設備・自動制御システムを導入  
生産設備は、専用機などが多く、高効率機器が少ない場合も多く、機械周辺の整理整頓、歩留まり改善、工程の短縮化・連続化などを行いましょう。

中小企業向けの国の補助金が使える場合もありますので、少し手間ですが、調べてみると、省コストにもなります。